

テーマ別パスファインダー



質的調査法



✧ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2012年10月30日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. イントロダクション

＜ 質的調査法（qualitative research）とは？

定性的研究等とも言われ、非構造化・半構造化面接/インタビューや、観察、加えて文書（日記等）や映像、歴史的記録などの質的データ（定性的データ）を得るために、社会学、文化人類学などで用いられる調査方法。質的調査の手法は、社会の全体像の把握を目的とする社会調査としては有効ではないが、先行研究が少ない分野の研究のために、探索的な調査をする目的として有効とされる。

関係分野：社会学、社会心理学、歴史学、教育学、文化人類学、精神分析学、経営学、哲学

II. 「はじめて学ぶ人へ」

＜ 谷富夫，芦田徹郎編著（2009）『よくわかる質的社会調査』ミネルヴァ書房

社会調査の概説をはじめ、フィールドワークや参与観察法等のデータ収集法、ライフヒストリー分析や会話分析といったデータ分析技法をわかりやすく解説。質的調査の実際や、調査倫理などについても触れる。【総合図-A棟3階 学習用図書 361.9||TAN】

＜ ウヴェ・フリック；小田博志〔ほか〕訳（2011）『質的研究入門：「人間の科学」のための方法論』春秋社

量的にはとらえられない人間の生の現実を調査・研究するための方法論「質的研究」の入門書。研究のデザインと実施に必要な背景知識、研究の品質評価、論文執筆などを解説する。日本語版独自の解説付き。【総合図-A棟3階 学習用図書 361.9||FLI】

III. もう少し深く学びたい人へ

＜ 好井 裕明（2006）『「あたりまえ」を疑う社会学 質的調査のセンス』光文社

社会学における社会調査、特に質的なフィールドワークをめぐり、著者自身の経験や、多くの優れた調査結果を語る作品を読んだ印象や思いを中心に、「世の中を質的に調べる」うえで、基本かつ大切なセンスについて語る。【外国図-4階新書 361.7||69】

＜ 佐藤 郁哉（2008）『質的データ分析法—原理・方法・実践』新曜社

苦勞してよい質的データが得られても、質の高い論文やレポートにまとめるのはむずかしい。「薄い記述」を克服し、ワンステップ上の「分厚い記述」に変えてゆくコツとヒント満載の、質的研究必携ガイドブック。【総合図-A棟3階 学習用図書 361.9||SAT】

< 箕浦 康子 (1999) 『フィールドワークの技法と実際—マイクロ・エスノグラフィー入門』 ミネルヴァ書房

心理学・教育学・社会学など人間を研究対象とする各分野で、人間を生活している文脈ごと理解しようとするフィールドワークの技法として注目されるマイクロ・エスノグラフィー。その技法と研究の実例を紹介。【総合図-A 棟3階 学習用図書 361.9||MIN||2】

< 桜井 厚, 小林 多寿子著 (2008) 『ライフストーリー・インタビュー—質的研究入門』 せりか書房

ライフストーリーとは、個人が生活史上で体験した出来事やその経験についての語り。その構築にインタビューをとおして参与するライフストーリー研究について、研究事例や研究経験、具体的な調査方法などを解説する。【総合図-A 棟3階 学習用図書 361.16||SAK】

IV. 質的調査法を用いた研究の名著

< ポール・ウィリス著；熊沢誠，山田潤訳 (1985) 『ハマータウンの野郎ども：学校への反抗・労働への順応』 出版社

イギリスの中等学校を卒業し、すぐに就職する労働階級の生徒のなかで、「荒れている」「落ちこぼれ」の少年たち=『野郎ども』。彼らの形づくる反学校の文化を生活誌的な記述によって詳細にたどり、労働階級の文化が既存の社会体制を再生産してしまう逆説的な仕組みに光をあてている。学校教育と労働が複雑に絡み合う結び目を解きほぐす、先駆的な文化批評の試み。【外国図-4 階開架 372.33||18】

< William Foote Whyte (原著)；奥田道大，有里典三 (翻訳) (2000) 『ストリート・コーナースァエティ』 有斐閣

都市エスノグラフィーの古典として揺るぎない評価を得、50年にわたって読みつがれてきた「本編」はもとより、大幅に増補改訂された「アペンディクス」は、社会調査・参与観察の方法論ノートとして、大いなる示唆に富む。社会学・都市人類学を学ぶ人びとすべての必読の書。【総合図-A 棟3階 学習用図書 361.6||WHY】

< 佐藤 郁哉 (1984) 『暴走族のエスノグラフィー—モードの叛乱と文化の呪縛』 新曜社

1年にわたる参与観察をもとに、暴走族の多彩な「遊び」の体験内容と象徴的意味、マスメディアと織りなすドラマ化の実相を生き生きと呈示し、なぜ彼らは暴走するのかを、心理・社会・文化的視野から解明する。みずみずしい知性と感性が躍動する一冊。【外国図1 階書庫一般 369.1||45】

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。